



2008

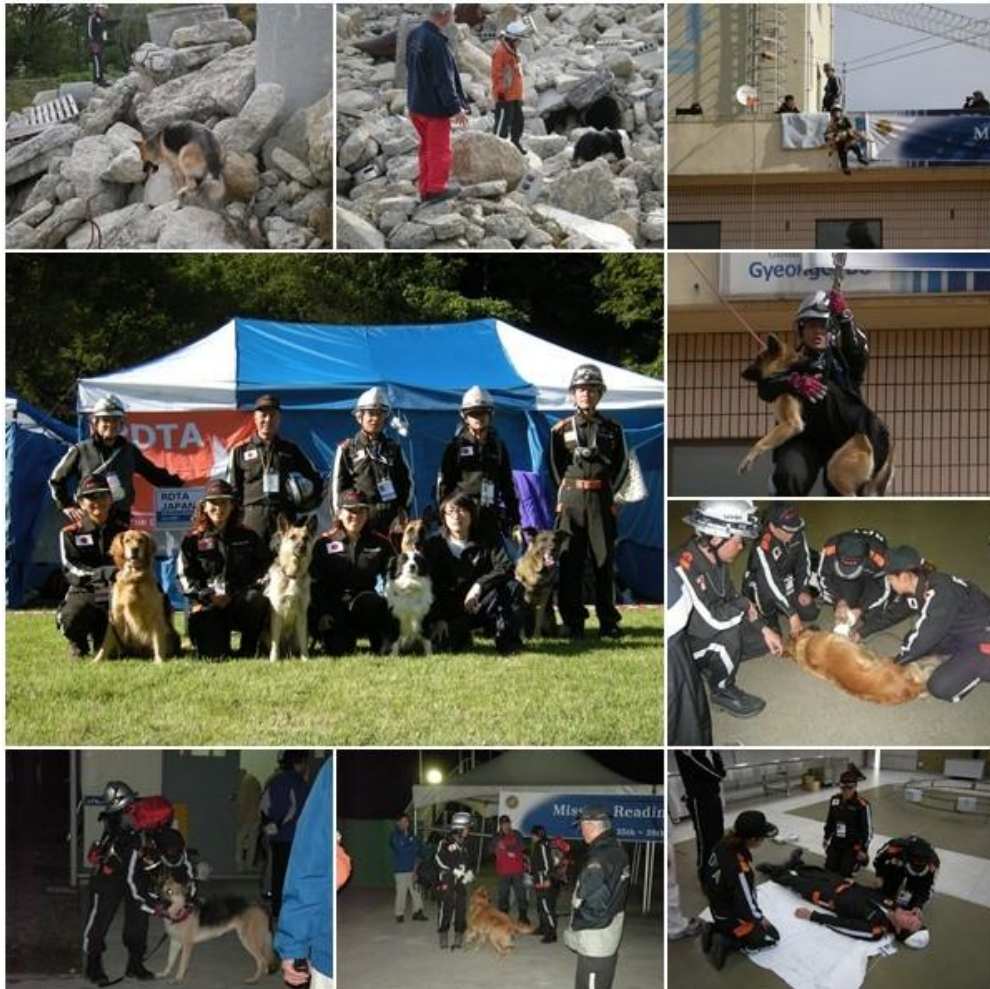
IROアジア地区出動チーム適正試験(MRT)  
韓国・ヨンギン市 (2008.9.25-28)

- 日本初のMRT合格に思う！

MRTとは、「国際捜索救助諮問グループ(INSARAG)」が召集した「救助犬専門家会合」によって定められた、出動チームテストのことを言います。

INSARAGとは国連の非公式協議機関で、1988年のアルメニア地震の際に、各国の救助チームが殺到し混乱しことを教訓に、被災地でのルール作りを呼びかけようと組織されました。その中で、被災地に集まる救助犬に対しても基準を設けようと、スイス陸軍やオーストリア陸軍、各国消防機関及び防災機関アメリカは、国家防災機関「フィーマ」、そしてIROやスイス・レドッグなど数多くの団体を会議に出席させて、国際基準を決定したのです。その試験がMRT(ミッション・レジネス・テスト)なのです。

アジアでは開催が難しいため合格犬が一頭も居なかったのですが、韓国の優良企業サムスンがその責務をかって出てくれたため、本年9月末に開催が実現しました。実際に則して、事前手続きや、入国時の救助部隊受付や登録、荷物や装備品の確認などが有り許可されたチームはベースキャンプ入りが認められます。その翌朝から36時間指揮本部の指示に従い、夜間行軍10キロ(GPS使用)を含めた7箇所の瓦礫現場捜索を行い、何名の要救助者を確認できたか(1番重要)、隊員の基礎知識試験として、人や犬に対する応急処置や救急救命の知識試験、無線通信や現場でのマーキング解読など、いくつかの項目に別れ試験が行なわれました。



そして、この試験の中には、絶対に怠ってはならない安全の確認やその為の情報収集、犬の捜索状況から判断する疲労度や変化、ハンドラーと犬のコンビネーション、このテストの全体(筆記)を含めた中で、「助言」「判断」「決断」とチームワークは勿論ですが、チームリーダーに求められる部分が大変多く組み込まれている事を感じました。



RDТА、Aチームは、玉川チームリーダー率いる(山田&安芸、村山&ランディー、村瀬&エロス)4人3頭の精鋭部隊で臨み、幸にも私と愛犬エロスが合格できましたが、これはAチームで臨んでこそその成績と受け止めております。特にアジアを代表する、優秀なチームリーダーと全ての審査員、エバリエーターから絶賛の評価を受け合格を果たした玉川チームリーダーには、1人のハンドラーとして、また協会を代表する立場として心より感謝申し上げます。残念な事にBチームは、島津チームリーダー率いる(大島&あかね、坂本&ピーチ、松元&ジェニファー)これRDТАの誇る女性精鋭部隊で臨んだのですが、残念ながらリーダーのみの合格と成りました。



しかしこの経験は、これからの救助犬育成に必ず生きてくると思いますし、今後の我が会にとって大きな力に成る事と確信を致しております。

玉川チームリーダー



山田&安芸、村山&ランディー、村瀬&エロス      松元&ジェニファー、坂本&ピーチ、大島&あかね、島津チームリーダー



RDTAがMRTに挑み、合格者、合格犬を出せた事は、胸を張って各方面、各機関に強くアピールして行きたいと思っております。受験に際し、泥縄式と言われた訓練にご協力頂いた各機関の皆様、日頃、影で我が会を支えてくれている多くの方たちにも喜んでいただきたく、韓国MRT参加者を代表致しまして、お礼申し上げます。

ご協力ご迷惑をお掛けした方々の、お名前を省略させていただきましたが、心より感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

RDTA 村瀬 英博



特定非営利活動法人 救助犬訓練士協会 (RDTA)  
神奈川県藤沢市葛原766-1  
電話) 0466-49-3220  
FAX) 0466-49-3222  
E-mail) [hq@rdta.or.jp](mailto:hq@rdta.or.jp)